

- 問1 豊臣秀吉が全国の百姓に対して、刀、脇指（わきざし）、弓、槍、鉄砲などの武器を持つことを禁じ、それらをすべて没収した政策を何といいますか。（2026年 広島県公立入試 類似）
1. 身分統制令 2. 太閤検地 3. 刀狩 4. 楽市・楽座
- 問2 豊臣秀吉が「刀狩」を行った主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 徳島県公立入試 類似）
1. 武士にのみ武器の携帯を許可することで、実力で主君を倒す下克上の風潮を広めるため 2. 没収した武器を溶かして通貨を作り、貨幣経済を全国に普及させるため 3. 外国から持ち込まれた鉄砲などの武器を回収し、鎖国体制を強化するため 4. 農民による一揆を防ぎ、農業に専念させることで年貢の徴収を安定させるため
- 問3 織田信長や豊臣秀吉の時代、城郭の屏風や襖には狩野永徳による「唐獅子図屏風」のような豪華で力強い絵画が描かれました。こうした華やかな「桃山文化」が栄えた時期に、茶の湯を大成させ、簡素なものに美を見出す「わび茶」の境地を確立した人物は誰ですか。（2022年 秋田県公立入試 類似）
1. 近松門左衛門 2. 清少納言 3. 歌川広重 4. 千利休
- 問4 14世紀から16世紀にかけてヨーロッパで起こった、古代ギリシャ・ローマの文化を復興させようとする運動を何と呼びますか。この運動は科学技術の発展を促し、後の大航海時代の到来や、日本への鉄砲・キリスト教の伝来の背景となりました。（2024年 富山県公立入試 類似）
1. 宗教改革 2. 産業革命 3. ルネサンス 4. ピューリタン革命
- 問5 14世紀頃にイタリアの諸都市から始まり、のちにヨーロッパ各地へ広まった、古代ギリシャやローマの文化を復興させようとする動きを何といいますか。（2025年 和歌山県公立入試 類似）
1. ルネサンス 2. 宗教改革 3. 産業革命 4. 啓蒙思想
- 問6 安土桃山時代の文化を示す「南蛮屏風」には、巨大な外国船が港に到着し、洋服を身にまとった人々が日本の商人と交易を行う華やかな様子が描かれています。この時期に行われたポルトガルやスペインとの貿易に関する記述として、最も適切なものはどれですか。（2026年 千葉県公立入試 類似）
1. 日本は生糸を主な輸出製品として、ヨーロッパの国々から金や銀などの貴金属を輸入した。 2. 日本は茶や陶磁器を輸出し、ヨーロッパからガラス製品やキリスト教の聖具を輸入した。 3. 日本は国内で増産された銀を輸出し、見返りとして鉄砲や火薬、生糸などを輸入した。 4. 日本は鉄砲や火薬の製造技術を海外へ輸出し、見返りとして大量の銀を輸入した。
- 問7 16世紀後半、織田信長が築いた城においてその形式が確立された、日本の城の中心部に位置する、展望や防御を目的とした最も高い塔状の建築物の名称として適切なものを選びなさい。（2024年 滋賀県公立入試 類似）
1. 天守 2. 櫓 3. 本丸 4. 石垣
- 問8 太閤検地では、全国でバラバラだった容積の単位を統一するため、特定の大きさの「枧（ます）」が公認の道具として使われました。このように、秀吉が計測の基準を全国で統一した最大の目的は何ですか。（2021年 鳥取県公立入試 類似）
1. 貨幣経済を浸透させるために、米ではなく金や銀による納税を全国に義務付けるため。 2. 南蛮貿易において、輸出する銀の量を正確に測り、海外との取引を有利に進めるため。 3. キリスト教の布教を制限するために、宣教師たちが持ち込む物資の量を監視するため。 4. 全国の土地の生産力を同じ基準で把握し、農民から徴収する年貢の量を安定させるため。
- 問9 織田信長が実施した経済政策の目的と内容について、当時の社会背景を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。（2021年 滋賀県公立入試 類似）
1. 市場での税を免除して自由な取引を認めるとともに、関所を廃止して流通を盛んにした。 2. 問屋の活動を制限し、米の売買を許可された有力な武士のみに限定して商売を行わせた。 3. 農村の余剰生産物を管理するため、各地の要所に新たな関所を設けて厳格な流通税を徴収した。 4. 特定の商人に「座」としての特権を認め、幕府への献金を強化することで財政の安定を図った。
- 問10 安土桃山時代における文化のあり方について、千利休が重んじた「わび茶」の精神やその背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2017年 愛知県公立入試 類似）
1. 華やかさを抑え、質素で静かなたたずまいの中に深い美しさを見出すとする精神 2. 幽玄な美を追求し、面や独特の所作を用いて物語を演じる精神 3. 形にとらわれず、風景や庶民の日常生活をありのままに描こうとする精神 4. 金銀をふんだんに使い、城郭の障壁画に見られるような豪華絢爛さを極める精神
- 問11 16世紀後半における、日本とポルトガルを中心とした「南蛮貿易」の特徴を説明した文として、最も適切なものはどれか選びなさい。（2025年 島根県公立入試 類似）
1. 仏教を広めることを目的とした宣教師たちが、日本から茶や陶磁器を大量に買い付けた。 2. 産業革命を経たイギリスから、機械製品や綿布が日本へ大量に輸出された。 3. 江戸幕府の鎖国政策により、長崎の出島においてオランダとの間でのみ行われた。 4. キリスト教の布教を伴い、日本からは銀が、ヨーロッパ側からは鉄砲や硝石などがもたらされた。
- 問12 太閤検地がそれまでの土地制度（荘園制）と大きく異なる点について、農民との関わりから述べたものとして正しいものはどれですか。（2023年 和歌山県公立入試 類似）
1. 土地の売買を完全に自由化し、市場価格に応じた現金を納税させる制度へと移行した。 2. 貴族や寺社が所有する荘園の権利を保障し、検地によってその私有地をさらに拡大させた。 3. 一つの土地に対して、実際に耕作している農民一人を検地帳に登録し、年貢の負担者とした。 4. 家族の人数や性別に応じて土地を割り当て、6年ごとに調査を行う仕組みを全国に広めた。
- 問13 16世紀、ポルトガルやスペインなどのヨーロッパ諸国が、危険を冒してまで日本を含むアジアへの新航路を開拓した主な理由として、当時の経済的背景を正しく説明しているものはどれですか。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）
1. キリスト教の布教のみを目的としており、アジア諸国との貿易による経済的利益は全く期待していなかったため。 2. 産業革命に必要な石炭や鉄鉱石を確保し、アジア全域を植民地として直接支配するための拠点を築くため。 3. イスラム商人が仲介していたために価格が高騰していたアジアの特産物を、直接手に入れるため。 4. モンゴル帝国の崩壊により、シルクロードを通じた陸路での安全な交通が完全に失われ、生活必需品の輸入が止まったため。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 刀狩	豊臣秀吉は、百姓が武器を持って一揆を起こすことを防ぐためにこの政策を実施しました。没収した武器は大仏建立の釘や鋸（かすがい）に使うという名目でしたが、真の目的は農民を農業に専念させ、社会を安定させることにありました。
問2	答え 4 農民による一揆を防ぎ、農業に専念させることで年貢の徴収を安定させるため	刀狩の目的は、農民から刀や脇差、弓、槍、鉄砲などの武器を奪うことで、一揆（武力蜂起）の可能性を摘み取ることでした。同時に、農民を土地に縛り付けて耕作に専念させることで、政権を維持するために不可欠な年貢を確実に確保しようとする狙いがありました。
問3	答え 4 千利休	安土桃山時代には、武士や豪商の勢いを反映した豪華な桃山文化が発展しました。その一方で、織田信長や豊臣秀吉に仕えた千利休は、華やかさとは対照的な「わび茶」の作法を完成させました。選択肢にある歌川広重と近松門左衛門は江戸時代、清少納言は平安時代の人物です。
問4	答え 3 ルネサンス	「再生」を意味するこの文化運動は、人間中心の自由な考え方を尊重するものでした。この時期に羅針盤などの科学技術が改良されたことで、ヨーロッパ人が海を渡ってアジアへ到達する大航海時代が始まり、最終的に日本への新しい技術や文化の流入へと繋がりました。
問5	答え 1 ルネサンス	14世紀のイタリアでは、それまでの神を中心とした中世の考え方に対し、人間中心の生き方を目指す動きが生まれました。この動きは「文芸復興」とも訳され、古代ギリシャやローマの古典文化を理想として、絵画・彫刻・文学など多岐にわたる分野で新しい文化が創造されました。
問6	答え 3 日本は国内で増産された銀を輸出し、見返りとして鉄砲や火薬、生糸などを輸入した。	南蛮貿易は、戦国大名が軍事力を強化するために必要な鉄砲や火薬、あるいは高級品である生糸などを手に入れる重要な手段でした。日本はこれらの輸入品に対し、世界有数の産出量を誇っていた銀で支払いました。屏風に描かれた光景は、こうした物資の往来とともに、カトリックの宣教師らによってキリスト教や西洋文化が日本に流入した背景を示しています。
問7	答え 1 天守	織田信長が安土城で完成させたこの建築形式は、軍事的な拠点としての機能だけでなく、城主の権威を誇示する象徴的な役割も果たしました。選択肢にある「櫓（やぐら）」は城壁に設けられた矢を射るための小規模な建物を、「本丸」は城の最も重要な中心区画そのものを指します。これらは天守を支える、あるいは天守が位置する要素ですが、建物そのものの名称は天守です。
問8	答え 4 全国の土地の生産力を同じ基準で把握し、農民から徴収する年貢の量を安定させるため。	太閤検地以前は、地域や領主によって測定に使う杵の大きさが異なっていたため、全国的な経済力の把握が困難でした。秀吉は「京枡（きょうます）」という規格に統一することで、全国どこでも同じ基準で収穫量を測れるようにしました。これにより、土地の面積や良し悪しに応じた正確な「石高」を算出でき、政権の財政基盤となる年貢を確実かつ公平に徴収することが可能になりました。
問9	答え 1 市場での税を免除して自由な取引を認めるとともに、関所を廃止して流通を盛んにした。	信長は城下町を繁栄させて自らの勢力を強化するため、市場の税を免除し、特権的な商工業者の組合である「座」を廃止する「楽市・楽座」を行いました。これとあわせて、交通の要所にあった関所を撤廃することで、人や物の自由な往来を阻む壁を取り除き、商工業の活性化を通じた富国強兵を目指しました。
問10	答え 1 華やかさを抑え、質素で静かなたたずまいの中に深い美しさを見出そうとする精神	桃山文化は、壮大な城郭や豪華な金碧障壁画などに代表される一方で、千利休によって確立された「わび茶」は、余計な飾りを削ぎ落とした質素な美しさを追求しました。これは茶の湯の作法を単なる娯楽ではなく、精神的な修行の域まで高めたものです。金銀の装飾は桃山文化の別の側面（権威の象徴）であり、風景や日常の描写は江戸時代の浮世絵、幽玄の美は室町時代の能楽の特徴を指します。
問11	答え 4 キリスト教の布教を伴い、日本からは銀が、ヨーロッパ側からは鉄砲や硝石などがもたらされた。	ポルトガルやスペインとの貿易は、カトリックの布教活動と密接に結びついていたため、南蛮貿易と呼ばれます。当時、石見銀山などで産出量が増大していた銀が日本の主要な輸出資源となり、軍事技術としての鉄砲や、その運用に必要な硝石が輸入されました。オランダとの出島貿易は17世紀以降の出来事です。
問12	答え 3 一つの土地に対して、実際に耕作している農民一人を検地帳に登録し、年貢の負担者とした。	太閤検地では「一地一作人（いっちいっさくにん）」の原則が導入されました。中世の荘園制では一つの土地に複数の権利者が重なっていましたが、検地帳に実際の耕作者を直接登録することで、農民の耕作権を認める代わりに、その農民に直接年貢を納めさせる責任を負わせました。これが後の兵農分離を加速させ、江戸時代の幕藩体制の基礎となりました。
問13	答え 3 イスラム商人が仲介していたために価格が高騰していたアジアの特産物を、直接手に入れるため。	当時、コショウなどの香辛料をはじめとするアジアの特産物は、イスラム商人が仲介してヨーロッパへ運ばれていたため、非常に価格が高騰していました。ポルトガルやスペインなどの国々は、これらを安く、かつ大量に直接手に入れることを目的として、海路による新航路の開拓に乗り出しました。キリスト教の布教も目的の一つではありましたが、その背景には強い経済的動機がありました。